

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

自然の恵みをくらしに活かす企業として、パインケミカルのトップ企業をめざし、さらなる成長を追求

売上高
1,100億円

営業利益
70億円

営業利益率
6.4%

ROE
10.0%

2 中長期の経営戦略

1. 事業基盤強化と拡充

パインケミカル分野の収益性改善、はんだ材料事業の規模拡大、製紙用薬品の海外市場展開、半導体用機能性樹脂の増産体制整備

2. 新規事業・成長分野R&D

環境対応と高機能化製品開発、ロジン新用途開発、半導体関連材料開発、リチウムイオン二次電池やライフサイエンス研究推進

3. 経営革新・DX推進

デジタル技術活用のものでづくり、DX認定事業者選定、デジタル人材育成、業務プロセスデジタル化、研究開発効率化

4. ROE改善対策

戦略投資の早期業績寄与、販売価格転嫁と経費削減、低採算事業の見直し撤退、事業ポートフォリオ入替え

3 対処すべき課題

① パインケミカル事業の課題

- ・ 海外需要減少と原料価格高騰への対応
- ・ 海外事業の販売価格見直しと安価原料調達
- ・ 新規開発品の採算性重視での事業見直し

② 買収事業統合推進

- ・ ヘンケル社買収はんだ材料事業の統合
- ・ 生産性改善と収益性向上の実現

③ 成長分野への対応

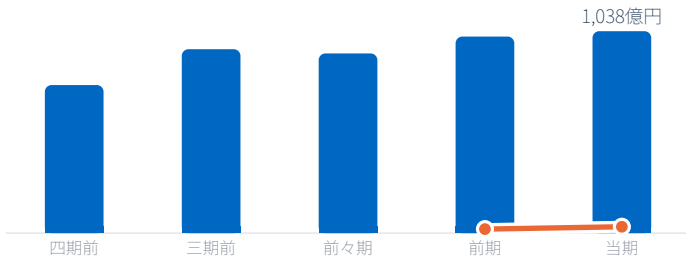
- ・ 半導体市場での競争力強化
- ・ 有機フッ素化合物フリーなど環境対応製品開発

面接で使えるポイント

- ・ 1947年創業以来、松から得られるロジンを中心としたパインケミカルのトップ企業をめざす
- ・ NEW HARIMA 2026で売上高1,100億円、営業利益70億円、ROE10.0%を目標に成長追求
- ・ DX認定事業者選定など、デジタル技術と新規事業開発で経営革新を実現

証券コード 4410

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,038億円

営業利益率
3.2%

財務健康度
17点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 56.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
764万円

化学内 72位/204社

平均年齢
46.6歳

化学内 16位/204社

平均勤続
17.0年

化学内 67位/204社

女性管理職
12.5%

化学内 39位/173社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

化学素材メーカーとして連結売上1,010億円を有する企業グループ

主力事業・セグメント

- ・ Lawter 36.0%
- ・ 紙化学 28.8%
- ・ Resins・TallOil製品 21.5%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 連結売上高1,038億円の事業規模
- ・ 平均勤続17.0年と定着率が高い
- ・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ハリマ化成グループ(株)【4410】：決算情報

